

# 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

## ～ 次世代農林水産業創造技術 ～

### 「持続可能な農業生産のための

### 新たな総合的植物保護技術の開発」

農研機構 中央農業総合研究センター 病害虫研究領域

津田 新哉

(つだ しんや)

「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」とは、内閣府の総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たすことを通じて、科学技術イノベーションを実現するために新たに創設された国家プログラムである。このプログラムの中には、エネルギー開発、インフラ維持管理技術、海洋資源、都市設計等の10課題が設定されており、その中に「次世代農林水産業創造技術」がある。

「次世代農林水産業創造技術」の中には、「高品質・省力化の同時達成システム」、「収量や成分を自在にコントロールできる太陽光型植物工場」、「新たな育種体系の確立」、「持続可能な農業生産のための新たな植物保護技術の開発」、「次世代機能性農林水産物・食品の開発」および「水未利用資源の高度利用技術の開発」等の大きな課題が設定され、平成26年度から5か年間で種々の研

究が展開されている。本事業の詳細は、内閣府のURL「<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>」をご覧ください。

その事業の中で、新たな病害虫防除技術開発を目的とした大課題「持続可能な農業生産のための新たな植物保護技術の開発 (略称: 新たな植物保護技術)」が設定された。本稿では、その「新たな植物保護技術」において展開されている研究開発の概要について紹介する。

#### 「新たな植物保護技術」の研究概要

##### 【研究目標】

これまで、単一の化学合成農薬を散布し続けることで病害虫などが薬剤抵抗性を獲得してしまうことが世界中で問題となっており、新規農薬開発と抵抗性の獲得の悪循環が続いている。さらに、新規農薬開発コストの著しい増大や、将来的に様々な農薬に抵抗性を持った病害虫

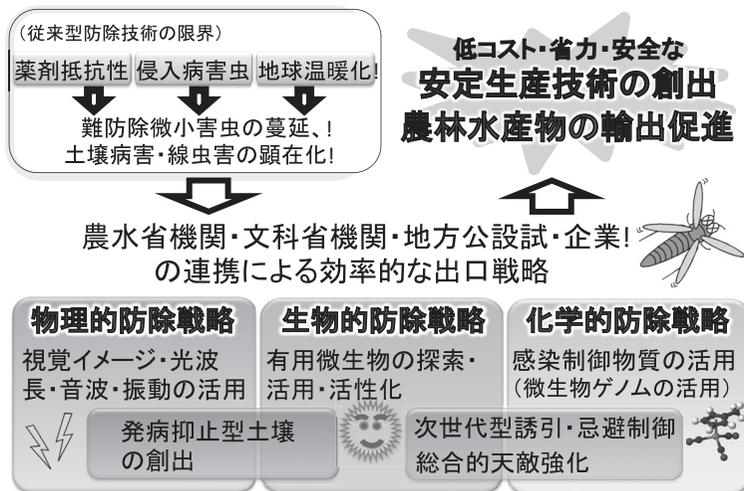


図-1 本事業における最終目標